



親愛なるみなさまへ

7月5日、デンマークのオーフスで、2022-23年度の国際会長に就任しました。世界 YMCA 同盟が盛大な会を開催していただいたことに感謝します。みなさまお一人おひとりにより、私に託された信頼に感謝し、この組織を前進させるためにお祈りくださいますようお願いいたします。また、世界中から寄せられた多くの祝辞にも感謝します。

この 100 周年記念の年を非常にインパクトのあるものにするために、一致団結して取り組んでいきましょう。私たちは、次の 100 年に向けて前進するための次の 10 年を計画するために、行動を起こす必要があります。今月は、「前進計画」に重点を置いています。新しい世紀に向けて、基礎を固めるときです。

100 周年記念の年は、大きなインパクトを与えるのに最もふさわしい時期です

インパクトは、以下によって生み出されます：

意義のあるプロジェクト

私たちは、それぞれの国にとって適切で有意義なプロジェクトを特定し、そのプロジェクトが効果的であること、つまり適切な人々に届き、ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の永続的な可視性を生み出すことを確認するための戦略を導入する必要があります。

可視性

プロジェクト、活動、イベント、プログラム、パートナーシップ

YMI は、奉仕と親睦によって容易に認識されるブランドであるべきです。あらゆる機会でも YMI のロゴが見えるようにすることが重要です。

コミュニケーション

効果的でインパクトのあるコミュニケーションのための新時代のデジタルツール

ソーシャルメディアのおかげで、簡単に情報を広めることができるようになりましたが、見る人の関心を引き、行動を起こすきっかけを作るには、適切なメッセージを発信する必要があります。まずは、クラブによるプロジェクトの短いビデオを作成することが、このコミュニケーションに役立つでしょう。

会員増強

私たちの最大の目的のひとつは会員増強ですが、以下にそのための簡単な仕組みをご紹介します：

3人の会員が毎年1人ずつ新会員を増やせば、3年後には会員数を2倍にすることができます。

会員増強



クラブは4半期ごとに会員数増加を報告するようにする

国際会長就任式

デンマーク・オーフス、YMCA 世界大会にて



国際本部ニュース 2022年8月

デンマークのオーフスで開催された第51回国際議会(ICM2022)が終了しました。この会議は、第20回YMCA世界大会と並行して開催され、YMIの100周年を記念する特別なYMCA世界大会の夜のセッションも行われました。まさに、世界中のYMCAの仲間にYMIを広めるためのエポックメイキングなイベントでした。100周年記念式典では、K・C・サミュエル国際会長が、国際執行役員と共に就任しました。また、この注目の機会を利用して、YMI設立への支援とリーダーシップを評価し、米国YMCA同盟にYMI100周年記念賞を授与しました。100周年記念式典の様子は、フェイスブックとウェブサイトにてライブ配信されました。見逃した方は、YMIのフェイスブックページでご覧いただけます。



YMCA世界大会は、100カ国以上から1,100人のリアル参加者と1,200人のバーチャル参加者によって開催されました。また、世界YMCA同盟の新会長にレバノンのソヘイラ・ハイエック、副会長に香港のロナルド・ラム、会計にシシ・ロハスが選出されました。次回のYMCA世界大会は、2026年7月にカナダのトロントで開催される予定です。

ICM2022の期間中、国際議会は、以下のようないくつかの重要な決定を行いました：

- ・キャンペーン期間中に入会した配偶者会員と若手会員(18~35歳)、および2022/23年に新規入会した配偶者会員と若手会員を対象に、100周年記念年の特別インセンティブとして、国際会費の割引50%を継続
- ・2023年7月1日から中央インド区を中央インド区(CIR)と北/東/北東インド区(NENEIR)に2分割することを承認
- ・戦略2032、インパクト・コミュニケーション、そして新たに承認された次期クラブ会長リーダーシップ・インスティテュートを運営するチームの発足

ジュネーブの夏は、国際本部が前年度を終了し、新しいYMIの年度を迎える準備の多くの管理業務を行うため、いつも大変忙しい時期です。前期(2022年8月1日)のクラブ会員報告や支払いのため、区と部は、クラブへの連絡に追われます。また、今年の国際選挙で投票できるようにクラブ会長の詳細も提供する必要があります。クラブからの必要な情報がタイムリーに区理事に届くよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

次期国際会長(IPE)、次期国際会計(ITE)、国際議会メンバー(ICM)の国際選挙の準備が始まりました。各クラブには、ICM/ICM(E)候補者の推薦に関する情報を記載した「クラブ会長メモ」が届いていることでしょうか。区理事には、次期国際会長と次期国際会計の候補者を指名する重要な責任があります。私たちの運動をリードする最も適切な候補者を特定するために、皆さまのご協力をお願いいたします。選挙手続の主要な日程は、ウェブサイト上で公開されています。

各レベルの指導者のみなさまには、進歩のために懸命な努力をされたことに敬意を表します。2021/22年度の国際賞受賞者のバーチャル発表は、前期の報告が終了する9月に予定されています。詳細は、ウェブサイトと国際会長ニュース9月号でお知らせします。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース





今年5月にドバイで開催された臨時国際議会で、「戦略 2032」と呼ばれる新たな前進計画が採択されました。私たちクラブメンバーの目標は、家族、会員増強、インパクトのあるユニークなプロジェクトに焦点を当て、YMI 運動を、次の100年の間、適切なものにする事です。

この戦略には、YMI を健康、教育、環境に重点を置いた明確なコミュニティベースのブランドとするための10年間の青写真が含まれており、世界的なミッションパートナーであるYMCAと連携して活動します。

戦略 2032 は、イエス・キリストの教えと哲学に基づき、あらゆる文化、性別、世代、多様性、宗教的価値観を包摂する強力なブランドを通じて、アイデンティティを獲得することに焦点を当てます。

私たちのチームは、Zoom を通して4半期ごとにミーティングを行い、以下の5つの初期分野における目標を達成するために、様々なレベルのクラブとYMIに挑戦する具体的で測定可能な目標パラメータを作成します。

フェローシップ

- 良い結果を導くような環境を提供することで、家族、青少年、文化的な親睦を深める。
- クラブ間の集いを推進する/IBC や親睦を推進する。
- ワイズメンズクラブ国際協会の国際/地域/区/部の懇親にコミットする。

リーダーシップ

- クラブ会員の個人的および専門的なリーダーシップ開発のための機会を強化する。
- 組織の遺産、理念、使命を認識した上で、研修の機会を提供し、次世代のリーダーを育成する。
- 影響力、情熱、誠実さ、活動性を備えたリーダーを育成する。

コミュニティインパクト

- 健康、環境、教育の分野でコミュニティに影響を与えるプロジェクトを実施する。
- 集団的な影響力のため、YMCA との目的を持ったパートナーシップを構築する。
- リソースを共有し、影響力を高めるために協力し合うことで、地域住民のビジネスや他の組織との戦略的な協力関係を構築する。
- 影響力についての良い成果を共有する。

グローバルインパクト

- 健康、環境、教育に関する唱道キャンペーンを実施する。
- 国際協会の主要な国際プログラム (ASF、BF、EF、RBM、TOF) のための資金を調達する。
- 国際協会の国際的なプロジェクトを支援し、関与する。

成長

- 質の高い会員と男女のバランスに重点を置く。
- 地域社会のあらゆる多様性を受け入れる包摂的な組織となる。
- 会員の勧誘と維持をクラブの最優先事項として継続する。
- 新クラブの結成を支援し、使命と影響力において成長するよう指導する。

この新しく結成された戦略 2032 チームの委員長として、私は YMI と YMCA のプログラムを活性化させるためにみなさまと一緒に働けることを楽しみにしています。

心をこめて

ハンク・ワルサー サンタモニカ・ブレックファストクラブ (アメリカ)

戦略 2032 前進計画グループ 委員長

南中部インド区

発足式&第1回区大会&M・J・マシューズ区理事就任式

2022年7月16日、バンガロールのゴクラムグランドホテルにて、新たに設立された南中部インド区の第1回区大会が開催されました。大会には、バンガロール、ハイデラバード、マドゥライ、シバカシ、ゴビチェティパラヤム、ヴィルドナガル、コインバトール、クヌール、ホスール、コラム、コーチン、トリバンドラム、ナグプール、ムンバイなどインド各地から 350 名を超える代表が参加しました。



K・C・サミュエル国際会長が、大会の開会を宣言し、区の新しいロゴの除幕をしました。続いて行われた会議では、M・J・マシューズが、大会のビジネスセッションをリードし、より強い区への道を切り開く重要な決定を行いました。K・C・サミュエル国際会長は、M・J・マシューズを、南中部インド地域の初代区理事の就任式を行いました。キャビネットのメンバーとして、アブラハム・

チャコ書記、ジヌ・ジョージ会計、ダニエル・トーマスブリテン編集長、トーマス・J・ビジュ次期区理事、マハンテッシュ・ラジャン共同書記、次期副理事、区内の部長が出席しました。区大会と就任式は、文化プログラム、親睦と夕食のため、午後8時に閉会しました。

バブ・オームメン
第1回区大会
実行委員長



貴重な署名

エストニアからの物語

著者: ピア・カロ・セルグ

翻訳: エスター・ハース

この物語は、今日に至るまで私たちに影響を与えている出来事を通して、20年少し前に遡ります。

2004年、パルヌ市街のレキュラ地区にある歴史的な校舎は、10年以上使用されていませんでした。その学校は、破壊者によって壊され、燃やされたのでした。その学校は、パルヌのワイズメンズクラブや地元の人たちが集う場所として使われていたのです。しかし、これらの団体には、パルヌ市政府が所有するこの建物を改修する手段がなかったのです。地元の人々は、この元校舎を地域社会のために役立てる方法を考えていました。偶然にも、2004年に欧州連合が募集した最後のファーレ CBC 助成金は、文化財保護や文化的多様性を促進するための建物を対象としており、これは絶好の機会となりました。



きっかけは2004年、ファーレ CBC 助成金の申請をしていたときでした。助成金の最も重要な条件の1つは、国際協力、特に改修終了後の協力でした。協力協定を結んでいなければ、申請手続きがすべてキャンセルされてしまうことを意味していました。地域社会のメンバーであるリーベ・カーシクは、パルヌワイズメンズクラブの創設者の1人でもあり、区役員会の代表であるフィンランドからのエスコ・ヴェプサ次期区理事に相談しました。その過程は、魅力的でした。コミュニケーションには、通訳者を使い、書類を送受信するためにファックスを探さなければならないなど、大変な苦勞がありました。努力の結果、フィンランド/バルト海区理事のジャーコ・コイックライネンは、地元社会と公式なパートナーシップ協定を締結することができました。こうして、助成金を申請するための前提条件が整いました。そして、申請書が承認され、旧校舎の改修がスタートしたのです。パルヌ市も、この改修に投資することを決定しました。このプロジェクトでは、建物にレキュラ・ヴァナコーリ(英語: Raeküla Old School Centre)という新しい名前が付けられました。この名前は、この校舎の歴史的背景と、この建物で学び、教えた人々への敬意を表しています。

国際パートナーシップ協定の署名は、時を経て貴重な価値のあるものになりました。この署名によって、私たちは建物の改修を開始することができました。長年にわたり、建物の改修は、地域プロジェクトを通じてフィンランド/バルト海区から2度、またエストニア共和国のさまざまな省庁から支援を受けてきました。建物の所有者と何百人ものボランティアが貢献し、今日まで続いています。ボランティアは2004年以来、建物の改修と維持の両方を手伝っています。2007年にはヘルシンキ・カタヤイセットワイズメンズクラブのメンバーもここでボランティア活動を行いました。彼らは必要な道具と軽い建材を積んだミニバンでパルヌに向かいました。パルヌクラブメンバーと共に、地元のユースルームの改修を終えました。

2008年の春と夏に、地元の若者たちは、地元のワイズメンズクラブメンバーの息子や娘も多くいましたが、建物の地下階の改修に貢献し、地元のユースセンターのためにいくつかの部屋を修理しました。この若者たちのリーダーであり、教師であり、モチベーターとなったのが、パルヌクラブの創立メンバーであるカルヨ・カーシクです。2008年のフィンランド/バルト海区大会に参加したゲストは、2008年9月19日に行われた若者たちへの感謝の式典に参加することが出来ました。この大会は、ヨーロッパにおけるワイズメン運動の80周年を祝うものでした。この素晴らしい若者たちと指導者のカルヨは、その秋に「2008年パルヌ市民社会年間事業賞」という、このカテゴリーで最高の榮譽を受賞しました。

結論から言うと、今日、この署名の価値は、少なくとも150万ユーロの投資が行われたことによって測ることができます。2006年9月1日のオープン以来、コミュニティセンターで行われている何十もの活動を加えると、この署名の価値は、さらに数百万ユーロ増加します。レキュラ・オールドスクールセンターは、現在もパルヌワイズメンズクラブの本拠地で、地元の人々や近隣、遠方からのゲストが集まる有名な場所となりました。この友情の一つの署名のおかげで、2021年にコミュニティセンターは、15年目、ユースセンターは13年目の活動を迎えました。この「貴重な署名」は、ワイズ運動における国境を越えた協力関係と、互いの活動を支援する機会を示す素晴らしい例です。

YMI グリーンファンド支援

マカティ YMCA 太陽光発電プロジェクト フィリピン

元国際議員ラモーナ・UJ・モラレス

YMI は、100 周年を記念して、グリーンファンドを通じてフィリピンのマカティ YMCA への太陽光発電設備の設置を支援しました。マカティ YMCA の理事会は、57 キロワットの太陽光発電システムの設置を承認し、その費用は、約 59 万ドルでした。

アジア太平洋地域の 100 周年記念事業として指定され、幸運にもグリーンファンドを通じて 11,000 米ドルの助成金を受けることができました。また、このプロジェクトは、アジア太平洋地域からパートナーシップ協定のもと、さらに 11,000 米ドルを受け取りました。

2021 年 6 月 19 日に行われた歴史的なバーチャル調印式には、デビッド・ルア 2020/21 地域会長、大野勉次期地域会長、コリン・ランビーグリーンチーム委員長、ジェニファー・ジョーンズ元国際会長等のアジア太平洋地域役員、ジョース・ヴァルギース国際書記長、ナム・ブ・ウォンアジア・太平洋・YMCA 同盟総主事が出席しました。

環境・社会・ガバナンス(ESG) 目標を追求する中で、二酸化炭素排出量の削減に向けた気候変動対策の取り組みを継続し、以下を実施しています：

- ・ビル全体に LED 照明とインバーター空調を設置
- ・使い捨てプラスチックの使用を完全になくすよう提唱
- ・ワイズメンズクラブのパートナーであるマカティ・サンピロクラブとマカティ・ゴールドデンクラブの支援を受けて、地域清掃活動を実施しています。

5 ヶ月間の太陽光発電の運用後、マカティ YMCA の建物のエネルギー消費は、ほぼ 40%削減され、電気料金の請求書に示されるように、コスト削減にも相対しています。

より環境に優しいコミュニティへの継続的な関わりの一環として、今後 5 年間、アジア太平洋地域の「グリーン」プロジェクトファンドに貢献することを約束します。これは、YMI と YMCA のパートナーシップモデルとしては初めての試みです。



クヌールクラブのプロジェクト

クヌールワイズメンズクラブは、毎週火曜日に聖アントニー教会で 78 週連続で貧しい人々に食事を提供することを完了しました。クラブは、また 3 回のアイキャンプを行い、281 人の患者を検診し、そのうち 53 人が、白内障と診断され、その後オーティ総合病院で手術を受けました。今年度は、500 件の白内障手術を行うことを目標としています。



2022 年 6 月 19 日、コシー・トーマス 2022-23 インド地域・セントラルトラバンコール区理事と区キャビネットの就任式が行われました。

編集後記

良い話、ニュース記事、プロジェクトの
写真などをお持ちの方は、編集長まで
メールにてご連絡ください。
ysmipnews@gmail.com

9 月の強調月間テーマは、「エクステ
ンションと会員増強・維持」です。

よろしくお祈りします。

ダニエル・トーマス

2022-23 国際会長ニュース編集長

私に届いたこの美しい物語をあなたと共有します

私は、バスに乗り込みました。車内が混雑しているのを見て、私は、少し動揺しました。座る場所がないのです。その時、一人の人が席を空けました。その席の隣に立っていた男性は、そこに座ってもよかったのですが、代わりに私に席を譲ってくれました。次の停車駅でも、同じことが起こりました。彼は、別の人に席を譲りました。このようなことが、全行程で 4 回もありました。その人は、長い一日の仕事を終えて帰宅する、普通の労働者のように見えたが.....。

終点で全員が降りたとき、私は、彼に話しかけました。「どうして空席ができるたびに、他の人に席を譲っていたんですか。」と。彼の答えに私は、驚きました。「私はこれまで、たいしたこともしていないし、いろいろなことを知っているわけでもありません。お金もあまり持っていません。だから、人にあげるものがないんです。だから、毎日こうしているんです。簡単にできることだからです。」

「1 日中働いていると、少しは立っていられるようになります。席を譲ったら、ありがとうと言われました。誰かのために何かできたという満足感があります。毎日これをやって、自分が何らかの形で貢献していることを実感しています。私は、毎日リフレッシュして家に帰り、誰かに何かを与えたことに喜びを感じています。」

私は、言葉を失いました。

日々、誰かのために何かをしたいと思うことは、究極の贈り物なのです。

内面から豊かになることがいかに簡単であるか、この見知らぬ人は、私に多くのことを教えてくれました。

自己を超えて、変化を起こそう